

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	3 個性的な市民文化・都市文化を創造する	施策名	② 文化的資源の掘り起こし、保存、継承
------	------------------------	----------------	----------------------	-----	---------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率							
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23							
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し							
◆文化の継承・伝統文化の保存・活用のため、上神主・茂原官衙遺跡等の重要遺跡の保存・整備を行うほか、飛山城史跡公園等での文化財の保存・活用や、伝統文化継承事業などにより、市民による文化財保存活動の支援を実施している。 ◆歴史・文化財活用ネットワークの構築のため、HP「歴史と文化財」を用いた情報発信や文化財ボランティアによる文化財ガイドを行いながら、市内5箇所の展示施設において、文化財の展示・啓発を行う取り組みを実施している。	◆文化財保存団体数は、地域の文化財保存のための市民協働事業の活発化により、着実に増加している。 ⇒ H24の見通しとしては、文化財保存団体数は変わらないが、保存団体による活動が活発化することが考えられる。	126.8%	文化財保存団体数	件	31	34	36	38	40	41	126.8%							
課題	◆本市の伝統文化や文化財の保存と継承については、市民の関心度は近年高まってきているが、保存継承活動者の多くは、高齢化しており、若年層の参加が課題となっている。 ◆文化財を保存し、周知・活用していくための方策として、歴史・文化財活用ネットワーク構築にむけ、市内各地に分散する展示施設を連携させた活用事業を進めることが課題となっている。 ◆文化財表示板の老朽化に対する対策が課題となっている。																	
												市民意識調査(重要度・満足度)	重要度	62.4	62.7	55.0	59.7	%
												満足度	27.5	32.3	34.9	34.5	%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
ふるさと宇都宮の伝統文化の継承	→	→	◆平成20年3月に「宇都宮伝統文化連絡協議会」が結成され、普及啓発事業として、伝統文化フェスティバルや宮っ子伝統文化体験教室などを実施し、より多くの伝統文化を身近に触れるための機会を創出している。 ⇒宮っ子伝統文化体験教室の実施校を増加させることなどにより、伝統文化の体験者が増加する見通し。	◆少子高齢化が進み、継承者が減少する中、伝統文化を後世に伝えていくためには、次代を担う子どもたちへの更なる支援を進める必要がある。
宇都宮城址公園 歴史体験学習施設整備活用	○整備	→	◆「宇都宮城ものしり館」や「清明館歴史展示室」の暫定空間を利用し、来訪者に本市や宇都宮城の歴史、文化財を普及させるための常設展示や企画展を行っている。 ⇒宇都宮城の歴史の展示や、文化財関連企画展を更に充実させていく。	◆厳しい社会経済状況の中、整備・運営水準などについて更なる検討が必要である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	宇都宮伝統文化継承事業	伝統文化継承団体及び市民	H20	伝統文化フェスティバル参加者	人	14,000	15,000	15,000	15,000	16,000	A	継続	本市の伝統文化の周知、継承及び伝承者の育成を図るため、伝統文化連絡協議会と連携して伝統文化フェスティバルなど発表の場の確保に努めるとともに、特に子どもたちに対する「宮っ子伝統文化体験教室」や「わくわく体験教室」の開催により継承事業の周知・啓発に取り組む。また、即戦力となる後継者を育成するための支援を行う。
				映像記録実施指定文化財	件	0	3	3	3	1			
				宮っ子伝統文化体験教室実施校	校	0	0	4	7	10			
					枚	0	0	4	10				
2	文化財周知啓発事業	市民	H3	普及啓発資料の発行部数	枚	3,600	3,600	8,100	3,600	3,600	A	継続	市民共有の財産である指定文化財の保存・活用を推進し、文化財愛護精神の高揚を図るため、文化財展示施設の活用や、文化財ボランティアとの連携、HPでの新たなコンテンツの開発、パンフレットの発行、文化財表示板の活用などによる周知啓発の方法について検討する。
					枚	3,600	3,500	8,100	4,500				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
3	指定文化財等保存修理支援事業	市内に所在する指定文化財等	S31	保存修理事業の件数	件	3	1	1	1	1	A	継続	東日本大震災による被害や経年劣化等による修復が必要な文化財が増加しているが、限られた予算での対応となるため、事前の調査や検討により計画的に復旧や修復を進めるとともに、様々な補助金の導入を検討するなど、効果的な支援に努める。
						5	1	2	3				
4	文化財調査事業	市内に所在する文化財	S42	発掘調査を行った文化財の件数	件	50	50	40	40	40	A	継続	発掘調査等により埋蔵文化財を適切に保存するとともに、指定文化財の保存や管理状況の調査を推進し、文化財の適切な保護に努める。
						34	45	33	43				
			指定文化財現況調査（予防査察）件数	件	25	25	25	25	25				
					24	23	22	24					
5	文化財施設の管理運営事業	旧篠原家住宅、うつのみや遺跡の広場、飛山城史跡公園	H8	旧篠原家住宅の入館者数	人	8,000	8,000	8,000	7,000	7,000	B	継続	本市の歴史や文化財の周知を図るために、各施設の機能と特色を活かし、指定管理者と連携をとりながら、魅力ある施設運営に取り組む。
						8,610	8,217	6,883	6,122				
			H3	うつのみや遺跡の広場の入館者数	人	17,000	18,000	18,000	17,000	17,000			
						17,360	18,157	16,353	16,469				
			H17	飛山城史跡公園の入館者数	人	15,000	20,000	20,000	22,000	23,000			
						15,155	21,052	22,944	23,383				
6	上神主・茂原官衙遺跡発掘調査事業	国指定史跡「上神主・茂原官衙遺跡」	H20	発掘調査面積	㎡	2,700	2,500	2,000	3,000	3,000	B	継続	計画的かつ効率的な発掘調査を実施することにより、遺跡の全容解明と、適切な整備に向けた保存を進めるため、調査成果の詳細な検証作業を行うとともに今後の活用方策について検討する。
						400	1,000	450	0				
7	上神主・茂原官衙遺跡公有地化事業	国指定史跡「上神主・茂原官衙遺跡」	H14	土地購入面積	㎡	7,301	4,199	0	0	7,671	B	継続	上神主・茂原官衙遺跡の恒久的な保存を図るため、土地所有者に事業への協力・理解を得ながら、史跡地内の土地の公有化を推進する。
						7,301	4,199	0	0				
			公有地化率	%	69	80	80	80	97				
					69	80	80	80					
8	大谷の名勝・文化的景観保存整備事業	大谷地域内の名勝指定・名勝指定候補地及び重要文化的景観選定候補地	H14	普及啓発事業の実施回数	回	5	5	5	5	5	B	継続	本市の名勝地である大谷の景観を、文化財としての観点から評価を行い、地域住民と連携し保存を図るため、関係各課と連携して普及・啓発事業を進める。
						5	8	3	4				
9	指定文化財等保存活動支援事業	指定文化財の保存・愛護活動に取り組む団体	S31	補助金の交付団体数	件	33	33	32	31	37	B	継続	地域に所在する指定文化財を保存・継承するため、地元の保存・愛護団体や所有者等の活動に対し支援を行っているが、経費的な支援が十分ではないため、団体間の人材交流による相互支援や、ボランティア団体との連携強化等の仕組みづくりに取り組む必要がある。
						34	38	36	36				
10	天然記念物保全事業	指定天然記念物	H20	保全事業を実施した天然記念物の件数	件	2	2	2	1	3	C	継続	天然記念物の保護を行い、将来に伝えていくために、所有者や管理者の理解を得ながら、継続的な管理を実施する。
						2	2	3	1				
11	文化財ボランティア支援事業	宇都宮市文化財ボランティア協議会	H20	文化財ボランティアの会員数	人	130	130	130	130	130	C	継続	多くの市民に本市の歴史や文化財の周知・啓発を図るため、宇都宮市文化財ボランティア協議会と連携を図り、活動しやすい環境づくりを支援していく。
						133	128	114	116				
12	指定文化財管理支援事業	指定文化財・所有者	S31	補助を行った文化財の数	件	1	1	1	1	2	C	継続	老朽化する文化財を良好な状態で維持管理できるよう、所有者や管理者と密に連絡を取りながら、効果的な支援業務を実施する。
						1	1	1	1				